



## 《評価指標データ》

博士研究員（PD）の受入状況  
 日本学術振興会特別研究員（DC、PD）の受入人数  
 研究誌発行状況  
 提携大学との研究誌等の交流状況（送付・受入）  
 専任教員の発表論文数【基本的な指標データ】  
 学術賞の受賞状況【大学基礎データ】  
 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数  
 21世紀COEプログラムの採択状況  
 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況  
 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況【基本的な基礎データ】  
 特定プロジェクト研究センター制度の活用状況  
 国際学会でのゲストスピーカーの延べ回数

☆ 追加データがあれば追加してください。

## ◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

## ◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(2)》改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

《次年度に向けた方策(2)》改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

## ◎自由記述

《点検・評価》&《次年度に向けた方策》

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### <評価専門委員会の評価>

##### 【学外委員】

○教育研究組織について定期的な点検が行われ充実が進められています。

##### 【学内委員】

○ここ数年間において、設置済みもしくは設置予定の専攻が3分野存在し、理工学研究科の教育目的・理念の遂行に多いに貢献しているといえます。さらに、教育研究組織の適切性についても定期的に検証されています。これらの内容は非常に高く評価できます。

○学術の進展や社会の要請との適合性に関して学部長室委員会で検証を行っているのでしょうか。また将来構想委員会があるようならば、そこでも検証をされているのではと思われます。もしそのような組織での検討を行っているのなら、実施回数を含め示す事が望まれます。

○理念・目的に照らして適切な理由を、簡単でも示されることが望まれます。

##### 【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

##### ○小項目4.0.1

基盤評価：なし

達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

##### ○小項目4.0.2

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

#### 4.0.1(現状説明)

元々あった理学学研究科の物理学専攻と化学専攻の基礎教育を土台として新専攻が組み立てられており、教育組織として教育目標である基礎教育を重視した応用分野の教育・研究が徹底できる構成になっている。

#### 4.0.2(現状説明)

★ 現在社会的にも理系分野の充実の要求が高まっている中、学部長室委員会では理工学研究科の新分野の増設も考慮して、話し合いを行った。さらに、「KSC戦略本部委員会」の基に発足した「理工学部将来構想委員会」においては、強化充実すべき理工分野について、4回にわたり具体的に討議を行った。